



秋の文学講演会 名著さんぽ倶楽部 第1回「日比谷界隈をそぞろ歩...

秋の文学講演会  
名著さんぽ倶楽部

ステッキ、懐子片手に東京の街歩きをまじりお洒落な紳士のお話です。日比谷、神保町にまつわる舞台や文豪の足跡をたどります。

ようこそ、まるで散歩をするような講演会へ、

さかぞき しげなり  
【講師】坂崎重盛（文筆家）

第1回 9月27日(土) 「日比谷界隈をそぞろ歩き」  
第2回 10月4日(土) 「神保町辺りをステッキ片手に」

【時間】14:00～15:30（受付開始 13:30-）  
【場所】日比谷図書館文化館 4階スタジオプラス（小ホール）  
【定員】各回 60名（先着順） 【参加費】全2回 2,000円(各回 1,000円)  
【申し込み方法】電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyai.jp）、  
当館1階受付にて、講座名と参加希望日（全2回または、9/27 枠 10/4）、  
お名前（よみがな）、電話番号をご連絡ください。  
主催：千代田区立日比谷図書館文化館 [mon-ri:] 10:00-22:00 [sat] 10:00-19:00 [sun] 10:00-17:00 千代田区日比谷公園 1-4



イベント 終了しました

## 秋の文学講演会 名著さんぽ倶楽部 第2回「神保町辺りをステッキ片手に」

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>日比谷や神保町界隈をテーマに、名作の舞台や文豪の足跡をたどる文学講演会。全2回シリーズの第2回。</p> <p>千代田区内には文豪ゆかりの土地が存在します。小説の舞台となった場所、作家の歩いた道、よく通った店など本をめぐる東京街歩き著書を多数執筆している講師にお話しいただきます。ステッキや帽子など、散歩に欠かせない紳士のお洒落アイテムのお話なども交えながら、講師秘蔵のコレクションである明治時代の錦絵や石版画などもご覧いただく予定です。各回地域を分けてお話しします。日比谷公園周辺から神保町、神田へと、まるで散歩するようにお楽しみください。</p>
日いち	2014年10月04日（土） 14:00から15:30
日いち説明	当日の受付開始13:30～

場所	4階 スタジオプラス (小ホール)
定員	60名 (申込順)
参加費用	各回1,000円
講師・出演者	坂崎重盛
プロフィール	<p>■坂崎 重盛 (さかざき しげもり)</p> <p>1942年東京生まれ。千葉大学造園学科で造園学と風景計画を専攻。卒業後、横浜市計画局で公園設計などを行う。退職後、編集者、文筆家に。散歩と古書店めぐりをこよなく愛し、明治の石版画や東京名所絵、ステッキ、ひょうたんなどのコレクターでもある。日本路地・横丁学会会長。著書に『ぼくのおかしなおかしなステッキ生活』(求龍堂)、『東京文芸散歩』(角川文庫)、『東京読書 少々造園的心情による』(晶文社)、『一葉からはじめる東京町歩き』(実業之日本社)他、平凡社、朝日文庫、芸術新聞社などより出版多数あり。俳号は「露骨」。</p>
主催	千代田区立日比谷図書文化館
問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館 (03-3502-3340)
申込期間	2014年08月12日 10:00 から2014年10月04日 14:00
申込方法	電話 (03-3502-3340)、Eメール (college@hibiyal.jp)、来館 (1階受付) いずれかにて、①講座名 (または講演会名) ②お名前 (よみがな) ③電話番号をご連絡ください。
発信日	2014.08.12

[印刷](#)[リストに追加](#)[ツイート](#)